

令和 7 年度

由利本荘市石脇財産区特別会計
決算審査意見書

由利本荘市監査委員

由本監査第15号
令和8年8月25日

由利本荘市石脇財産区管理者
由利本荘市長 湊 貴信 様

由利本荘市監査委員 佐 藤 光 昭

由利本荘市監査委員 高 橋 真理子

由利本荘市監査委員 長 沼 久 利

決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和7年度由利本荘市石脇財産区特別会計歳入歳出決算及び関係書類を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出する。

由利本荘市石脇財産区特別会計決算審査意見

1. 審査の対象

令和7年度由利本荘市石脇財産区特別会計歳入歳出決算

2. 審査の期間

令和8年7月3日～令和8年8月18日

3. 審査の方法

審査にあたっては、由利本荘市監査基準に準拠し、管理者から送付された令和7年度決算書及び歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書について、決算計数の審査を行い、その内容の確認、予算執行状況の適否について検討した。内容審査にあたっては、提出された資料をもとに関係帳簿、証書類について検討を加えた。

4. 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算及び附属書類は、関係法令の諸規定に準拠して作成されており、会計帳簿並びに証書類なども照合検証したところ、計数的に正確であると認めた。予算の執行については概ね適正であると認めた。

概要は後述するとおりである。

5. 決算の概要

(1) 決算総額

(単位：円、%)

区分 年度	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
R7	61,746,810	53,312,214	8,434,596
R6	61,306,832	53,636,953	7,669,879
比較増減	439,978	△ 324,739	764,717
増減率	0.7	△ 0.6	10.0

歳入歳出差引残額8,434,596円が、本年度実質収支となり翌年度へ繰越している。

(2) 歳入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額 (A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率 (C)/(A)	収納率 (C)/(B)
R7	62,925,000	66,966,923	61,746,810	0	5,220,113	98.1	92.2
R6	62,220,000	65,676,392	61,306,832	0	4,369,560	98.5	93.3
比較増減	705,000	1,290,531	439,978	0	850,553	△ 0.4	△ 1.1
増減率	1.1	2.0	0.7	—	19.5		

収入済額の主なものは、財産（土地）貸付収入48,946,518円、繰越金7,669,879円、基金繰入金2,700,000円などである。収入未済額5,220,113円は、土地貸付収入にかかるものである。土地貸付収入の収納率は、現年度分が97.6%、滞納繰越分が7.4%となっている。滞納額の解消については、さらなる努力を望むものである。

(3) 歳出

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	不 用 額	執 行 率 (B)/(A)
R7	62,925,000	53,312,214	9,612,786	84.7
R6	62,220,000	53,636,953	8,583,047	86.2
比較増減	705,000	△ 324,739	1,029,739	△ 1.5
増減率	1.1	△ 0.6	12.0	

支出済額の内訳は、財産区議会費11,028,940円、財産管理費21,920,274円、一般会計繰出金及び積立金からなる諸支出金20,363,000円である。

6. 財 産

財産に関する調書の審査結果は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の年度末現在高については、土地2,091,210㎡、建物555㎡、山林859,900㎡、立木の推定蓄積量13,441㎡となっている。

(2) 基 金

基金の年度末現在高269,587千円について、預金証書などを照合した結果、符合し、正確であると認めた。

令和 7 年 度

由利本莊市子吉財産区特別会計
決 算 審 査 意 見 書

由利本莊市監査委員

由本監査第16号
令和8年8月25日

由利本荘市子吉財産区管理者
由利本荘市長 湊 貴信 様

由利本荘市監査委員 佐藤 光 昭

由利本荘市監査委員 高 橋 真理子

由利本荘市監査委員 長 沼 久 利

決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和7年度由利本荘市子吉財産区特別会計歳入歳出決算及び関係書類を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出する。

由利本荘市子吉財産区特別会計決算審査意見

1. 審査の対象

令和7年度由利本荘市子吉財産区特別会計歳入歳出決算

2. 審査の期間

令和8年7月3日～令和8年8月18日

3. 審査の方法

審査にあたっては、由利本荘市監査基準に準拠し、管理者から送付された令和7年度決算書及び歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書について、決算計数の審査を行い、その内容の確認、予算執行状況の適否について検討した。内容審査にあたっては、提出された資料をもとに関係帳簿、証書類について検討を加えた。

4. 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算及び附属書類は、関係法令の諸規定に準拠して作成されており、会計帳簿並びに証書類なども照合検証したところ、計数的に正確であると認めた。予算の執行については概ね適正であると認めた。

概要は後述するとおりである。

5. 決算の概要

(1) 決算総額

(単位：円、%)

区分 年度	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
R7	8,290,982	7,171,452	1,119,530
R6	6,853,146	5,306,136	1,547,010
比較増減	1,437,836	1,865,316	△ 427,480
増減率	21.0	35.2	△ 27.6

歳入歳出差引残額1,119,530円が、本年度実質収支となり翌年度へ繰越している。

(2) 歳入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	収入率 (C)/(A)	収納率 (C)/(B)
R7	8,296,000	8,290,982	8,290,982	0	0	99.9	100.0
R6	6,857,000	6,853,146	6,853,146	0	0	99.9	100.0
比較増減	1,439,000	1,437,836	1,437,836	0	0	0.0	0.0
増減率	21.0	21.0	21.0	—	—		

収入済額の内訳は、財産収入4,013,972円、基金繰入金2,730,000円、繰越金1,547,010円となっている。

(3) 歳出

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	不用額	執行率 (B)/(A)
R7	8,296,000	7,171,452	1,124,548	86.4
R6	6,857,000	5,306,136	1,550,864	77.4
比較増減	1,439,000	1,865,316	△ 426,316	9.0
増減率	21.0	35.2	△ 27.5	

支出済額の内訳は、財産区議会費1,965,918円、財産管理費1,762,534円、一般会計繰出金及び積立金からなる諸支出金3,443,000円である。

6. 財 産

財産に関する調書の審査結果は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の年度末現在高については、土地3,229,047㎡、山林2,980,700㎡、立木の推定蓄積量93,057㎡、出資による権利5,057千円となっている。

(2) 基金

基金の年度末現在高84,036千円について、預金証書などを照合した結果、符合し、正確であると認めた。

令和 7 年 度

由利本荘市石沢財産区特別会計
決 算 審 査 意 見 書

由利本荘市監査委員

由本監査第14号
令和8年8月25日

由利本荘市石沢財産区管理者
由利本荘市長 湊 貴信 様

由利本荘市監査委員 佐藤 光 昭

由利本荘市監査委員 高 橋 真理子

由利本荘市監査委員 長 沼 久 利

決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和7年度由利本荘市石沢財産区特別会計歳入歳出決算及び関係書類を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出する。

由利本荘市石沢財産区特別会計決算審査意見

1. 審査の対象

令和7年度由利本荘市石沢財産区特別会計歳入歳出決算

2. 審査の期間

令和8年7月3日～令和8年8月18日

3. 審査の方法

審査にあたっては、由利本荘市監査基準に準拠し、管理者から送付された令和7年度決算書及び歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書について、決算計数の審査を行い、その内容の確認、予算執行状況の適否について検討した。内容審査にあたっては、提出された資料をもとに関係帳簿、証書類について検討を加えた。

4. 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算及び附属書類は、関係法令の諸規定に準拠して作成されており、会計帳簿並びに証書類なども照合検証したところ、計数的に正確であると認めた。予算の執行については概ね適正であると認めた。

概要は後述するとおりである。

5. 決算の概要

(1) 決算総額

(単位：円、%)

区分 年度	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
R7	8,980,980	6,701,931	2,279,049
R6	11,622,548	9,490,544	2,132,004
比較増減	△ 2,641,568	△ 2,788,613	147,045
増減率	△ 22.7	△ 29.4	6.9

歳入歳出差引残額2,279,049円が、本年度実質収支となり翌年度へ繰越している。

(2) 歳入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	収入率 (C) / (A)	収納率 (C) / (B)
R7	8,987,000	8,980,980	8,980,980	0	0	99.9	100.0
R6	11,629,000	11,622,548	11,622,548	0	0	99.9	100.0
比較増減	△ 2,642,000	△ 2,641,568	△ 2,641,568	0	0	0.0	0.0
増減率	△ 22.7	△ 22.7	△ 22.7	—	—		

収入済額の内訳は、財産収入138,976円、基金繰入金6,710,000円、繰越金2,132,004円となっている。

(3) 歳出

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	不用額	執行率 (B) / (A)
R7	8,987,000	6,701,931	2,285,069	74.6
R6	11,629,000	9,490,544	2,138,456	81.6
比較増減	△ 2,642,000	△ 2,788,613	146,613	△ 7.0
増減率	△ 22.7	△ 29.4	6.9	

支出済額の内訳は、財産区議会費2,329,910円、財産管理費502,021円、一般会計繰出金及び積立金からなる諸支出金3,870,000円である。

6. 財産

財産に関する調書の審査結果は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の年度末現在高については、土地5,723,652㎡、山林9,195,363㎡、立木の推定蓄積量196,030㎡、出資による権利5,984千円となっている。

(2) 基金

基金の年度末現在高44,724千円について、預金証書などを照合した結果、符合し、正確であると認めた。